※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「新　現代の国語」　（三省堂出版）						
副教材等	字義で覚える常用漢字（浜島書店出版）　最新国語便覧（浜島書店出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に着けることを心がけましょう。
・「読む能力」を向上させましょう。
・コミュニケーションのための「話す・聞く能力」と「書く能力」を高めましょう。
・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働する活動を行います。
・予習として本文を読んでおきましょう。授業後は内容を振り返り、できない個所をできるように練習しておきましょう。
・宿題、提出物について、丁寧に、間違いなく仕上げましょう。期日までに提出することは厳守です。
・授業中のノートは板書を書き写すだけでなく、気づいたことやクラスメイトの意見、その日のポイントなどを積極的に書き込みましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1). 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2). 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
(3). 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
(4). 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(5). 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(6). 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎となる語彙力を増やす。 ・授業で扱う論理的な文章の構成を理解し、情報を適切に読み取ることができる。	・論理的な文章に触れた際に、その構成を把握するとともに、自身の考えを深めることができる。 ・読み取った情報から自身が何を考えたかを他所と共有し、相互に高め合うことができる。	・言語活動の重要さを知り、粘り強く自身の問いを深め、積極的に他者と共有しようとしている。 ・自身の学習を評価し、改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

ｶﾞｯｷ	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	世界を言葉と声で表す ［教材］ 言葉と声で表そう	b[　話/聞　]:正答のない答えに対して、自由に想像力を働かせ思考し、それを言語化できる。 c:自身が出した答えを分析し、他者の意見を踏まえより良いものにしようとしている。		ワークシート	ワークシート 発表
	情報を整理する ［教材］ 届く言葉、届かない言葉	a:筆者の主張を理解している b[　読　]:事例と主張の関係性を、叙述をもとに理解し、文章全体の要旨を把握できる c:今までの学習を活かし、課題に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	情報を吟味する ［教材］ 情報は作られる	b[　話/聞　]:身の回りに溢れている情報に注意を向け、間違ったものがないかを把握できる。 c:進んで情報に触れ、それがどういうものかを分析しようとしている。		ワークシート	ワークシート 発表
	情報と適切につきあう ［教材］ ひとまず、信じない	a:聞き馴染みのない言葉の意味を知り、情報の取り扱い方についての知識を深めている。 b[　話/聞　]:文章を読み、筆者の主張を捉え、情報と適切につきあう方法について考え、共有できる。 c:積極的に課題について考え、他者とよく共有しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	情報を集めて選ぶ ［教材］ 人が死なない防災	a:文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 b[　書　]:筆者の主張と自身の体験を照らし合わせ、他者に伝えることができる。 c:積極的に自身の体験を振り返り、分析し、他者と共有しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
二学期	わかりやすく伝える	b[　話/聞　]:正確に情報を他者に伝える。正確に情報を聞き取ることができる。		ワークシート	ワークシート 発表

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ わかりやすく伝える	c：正確な情報伝達の難しさを理解し、進んで改善しようとしている。			
	情報を生かす ［教材］ ハザードマップ	b［ 書 ］：ハザードマップの情報を正確に読み取り、自身の生活に反映できる。 c：積極的に防災意識を高めようとしている。		ワークシート	ワークシート
	情報を分析・評価する ［教材］ 読むことのレッスン	a：言葉の意味を知り、情報を整理することができる。 b［ 読 ］：文章全体の構造を捉え、物事を比較して述べることの効果を認識できる。 c：積極的に効果的な物事の比較を学ぼうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワーク シート ノート 振り 返り シート
	説明の方法を理解する ［教材］ 水の東西	a：言葉の意味を知り、筆者の主張がどのように構築されているかを理解することができる。 b［ 読 ］：比較構造型の文章で、何と何をどのように比較しているかが理解できる。 c：進んで比較構造型の文章の理解に取り組み、他者と共有しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	根拠を明確にして考えを伝える ［教材］ 根拠を明確にして考えを伝える	b［ 話/聞 ］：根拠を明確にして、他者に伝えることができる。 c：積極的に他社の意見を聞き、自身の論を構築しようとしている。		ワークシート	ワークシート 発表
三学期	説明の仕方を考える ［教材］ 宝探しみたいに本の世界へ入っていきます	a：言葉の意味を知り、筆者の言いたいことをまとめることができる。 b［ 書 ］：筆者の意見をまとめ、自身の読書の経験を他者と共有することができる。 c：進んで他者と意見を共有している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	よりよい書き手になるために ［教材］ ものとことば	a：新しい言葉を知り、文脈と主張を理解できる。 b［ 書 ］：ことばの機能を知り、自身の周りをことばで再認識し、他者と共有することができる。 c：積極的に新しい言葉を調べている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	世界を言葉で広げる ［教材］ 世界を言葉で広げる	b［ 話/聞 ］：自由に発想し、他者に伝え、共有することができる。 c：積極的に他者と共有している。		ワークシート	ワークシート 発表

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［b］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３０　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間